
ギャグありシリアスありバトルありのお気に入りキャラで逃走中

ソニック

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ギャグありシリアスありバトルありのお気に入りキャラで逃走中

【Nコード】

N9383Z

【作者名】

ソニック

【あらすじ】

舞台は未来大都市レールシティ

そこで様々な逃走者がバトルありの逃走劇を行う
果たして誰が逃げ切れるか

逃走者紹介（前書き）

逃走者の紹介

逃走者紹介

スマブラX

マリオ

ルイーダ

ピーチ

クッパ

ワリオ

マルス

アイク

ネス

リユカ

ゲーム&ウオッチ

ロボット

カービィ

メタナイト

デデデ

ピカチュウ

ルカリオ

ドンキーコング

デイデューコング

フォックス

ファルコ

ウルフ

サムス・アラン

リンク

ゼルダ

トウオンリンク

スネーク

ソニック
ソニック・ザ・ヘッジホッグ
シャドウ・ザ・ヘッジホッグ
シルバー・ザ・ヘッジホッグ
マイルス・テイルス・パウアー
ナックルズ・ザ・エキドゥナ
エミー・ローズ
ルージュ・ザ・バット
ベクター・ザ・クロコダイル
エスピオ・ザ・カメレオン
チャーミー・ビー
ブレイズ・ザ・キャット
ロックマンX
エックス(コマンドミッション)
ゼロ
アクセル
スパイダー
マッシモ
マリノ
シナモン
ドラゴンボール
孫悟空
ベジータ
トランクス(未来)
孫悟飯
ピッコロ
バーダック

ブローリー
パラガス

ぷよぷよ
アルル・ナジャ
アミティ

あんどろりんご
ラフィーナ
シゲ

レムレス
クルーク
アコール先生
フェーリ

シエゾウイグイイ
ドラコ・ケンタウロス
サタン
ルルー
ウィッチ
リデル

ロックマンゼロ
ゼロ（ロックマンXのゼロと同一人物のためロックマンゼロと書く
が他の皆はゼロと呼ぶ）

仮面ライダー龍騎
城戸真司
秋山蓮

仮面ライダーカブト
天道総司

加賀美新

仮面ライダー電王

モモタロス

ウラタロス

キンタロス

リュウタロス

デネブ

ジーク

仮面ライダーディケイド

門矢士

海東大樹

仮面ライダーW

左翔太郎

フィリップ

照井竜

仮面ライダー000

火野映司

アーク

伊達明

後藤慎太郎

ボーボボ

ボボボーボ・ボーボボ

首領パッチ

ところ天の助

魚雷ガール

でんじやらすじーさん

じーさん

孫

校長

ゲベ

マッスル竹田

ステップ長谷川

この96名の逃走者で逃げ切れる者はいるか

逃走者紹介（後書き）

好きなアニメゲームキャラで逃走中よりも人数多いな、まいつか感想をお願いします

オープニングゲーム（前書き）

本編スタート

オープニングゲーム

逃走劇の舞台は未来大都市レールシティ

広さはデイズニーランドの2倍

レールシティで250分間の逃走劇が始まる

そして現在逃走者はハンターが封印している97の鎖が入ったハンターボックスの目の前にいる

その鎖は97本の内1本がハンターを放出するハズレの鎖で96名の逃走者は1人一本引かなければならない

なお鎖を引く順番はくじ引きで決める

全「せ」の「

モモタロス「俺は50番か」

シャドウ「27番・・・」

アクセル「12番か・・・」

そして最初に鎖を引くのは

翔太郎「いきなり俺かあ」

ハーフォイルド探偵左翔太郎だ・・・

翔太郎「誰がハーフォイルドだ!!」

フィリップ「何1人で叫んでんだい翔太郎、早く鎖を引きたまえ」

翔太郎「あ、ああ分かったじゃあ黒で行くか」

ウィッチ「どうして?」

翔太郎「俺が使ってるジョーカーのガイアメモリと同じ色だからだ、
じゃあ引くぜ!」

果たしてクリアかそれとも放出か

ジャラ

翔太郎「よっしやあー!!」

クリアだ

なおクリアした逃走者はボックスから離れた場所でスタートできる

2番目は

ルージュ「さて次は私の番ね・・・」

ルージュだ

ルージュ「じゃあカーキを引くわ」

クリアか放出か

ジャラ

クリアだ

その後も

フォックス

トランクス

レムレス

天の助

ロックマンゼロ

海東

デネブ

ステップ長谷川

アंक

アクセル

と12人が鎖を引きクリアとなった

13番目は

照井「よし、行くか」

照井竜だ

照井「赤を引く」

モモタロス「何でだ？」

照井「俺に質問するな」

モモタロス「んだと、このやろう!!」

アルル「まあまあ、落ち着いて」

ジャラ

当たりだ

果たしてハズレの鎖を引くのは一体誰だ？

オープニングゲーム（後書き）

感想をお願いします

オーブニングゲーム2（前書き）

ソニック「今回の逃走中はゼロが2人いるんだよな・・・」

翔太郎「ああ、ロックマンXのゼロとロックマンゼロのゼロな、でも外見が違うよな」

フィリップ「翔太郎、ロックマンゼロの事は全部調べ尽くしたよ」

翔太郎「おお、そうか」

アミティ「教えて教えて」

フィリップ「ロックマンゼロの話の内容はロックマンXの出来事から100年後が特徴でゼロは妖精戦争と言う戦争を終わらせた後100年間封印されたがレジスタンスのシエルと言う科学者によって目覚められた。確かにXシリーズのゼロとは同一人物でもあるが風貌と外見が違い記憶を失っておりXシリーズの出来事をあまり覚えていないそのためかXシリーズよりクールになっているんだ。」

ナックルズ「なるほどな、でも100年間も封印されていたら記憶だってそりゃ無くすわな」

りんご「フィリップ君、ロックマンゼロの方にもエックスは出てくるの？」

フィリップ「勿論出てくるよ、彼は2つを戦争を終結させた伝説の英雄として知られているんだ」

りんご「2つの戦争を終結させたの！？スゴッ！！」

フィリップ「でもこの話はロックマンXの平行ワールドの出来事と言う可能性もあるんだ」

今回の前書きはロックマンゼロの事についてになりました

気を取り直して本編スタート

オープニングゲーム2

オープニングゲーム

次の14番目は

エスピオ「自分の番か」

エスピオだ

エスピオ「ここは自分同じ色と言つ事で紫を選ぶ」

果たしてクリアかそれとも放出か

ジャラ

エスピオ「よしー!ー!」

クリアだ・・

15番目は

ルイージ「今度は僕だ・・」

ルイージだ

ルイージ「僕も緑を引くよせーの」

ジャラ

クリア

その後も

悟空

天道

ナツクルズ

ウィッチ

蓮

ゲベ

の6名もクリアした

そして22番目は

クツパ「吾輩の番か・・・」

クツパだ

フィリップ「僕の予想では彼が放出をする可能性が高い」

フィリップ以外「マジで!!」

クツパ「うわあ、何か怖い・・・黄緑を選ぶか」

果たしてクリアかそれともフィリップの言う通り放出か

ナツクルズ「確保情報・・・」

加賀美「クツパ確保・・・」

ドラコ「フィリップの予想が本当に当たったよスゴッ」

これより250分間の逃走劇が始まった

オープニングゲーム2（後書き）

感想をお願いします

part - 1 (前書き)

本編スタート

part - 1

遂に始まった逃走中

250分間逃げ切れれば賞金がもらえる

ただしハンターにつかまれば賞金は0

そして自首電話で自首をすればその分だけの賞金がもらえる

この未来大都市レールシティで250分間逃げ切れる者は誰だ

翔太郎「遂に始まったか、警戒は常にしとかないとな」

警戒心を持つハーフボイルド探偵

翔太郎「ハードボイルドだ!!」

そこへ

ドンキー「お、翔太郎じゃないか」

翔太郎「おお、ドンキーか」

ドンキー「そう言えばお前の相棒すごかったぞ」

翔太郎「フィリップの事か？」

ドンキー「ああ、ハンターを放出する奴がクツパだって予想してその予想が当たったんだよ」

翔太郎「なるほど、あいつは調べたい事を全て調べる事だってできるからな」

ドンキー「スゲエな、所でせっかくあつたんだし合流しないか」

翔太郎「おう、別にいいぜ」

翔太郎、ドンキーと合流

エックス「未来大都市というだけあって広いな」

りんご「うん、どこからハンターがくるか分からないしね」

この2人はやはり一緒に行動していた

ソニック「気をつけろよアミティ、どこから出でくるか分からないからな」

アミティ「うんー!!」

この2人もだ

トウーン「250分て長いな」

ゲーム時間を見るトウーン

その彼の後ろにハンター

そして

ハンター「・・・!!」

見つかった

トウイン「……てオワア!!」

ハンターに気付き逃げるも距離が縮んで行くそして

ポンッ

トウインリンク確保残り94人

プルルルル

ロツクマンゼロ「確保情報……」

天道「西エリアにて……」

マリオ「トウーンリンク確保」

リンク「トウーンが捕まった!！」

フォックス「スマブラ側が早くも2人捕まった」

果たして逃げ切れるものは誰だ

part - 1 (後書き)

次回は最初のミッションが来ます

感想をお願いします

part - 2 (前書き)

第1ミッションが始まる

part - 2

「????」「フフ、さてまず最初のミッションを発動するか」

謎の男によって東エリアのショッピングモールの扉付近に指紋認証装置とハンター20体のいるボックスが転送された

これよりミッションがはじまった

ブルルルルル

映司「お、メールだ、なになに・・・ミッション」

ルカリオ「これより220分になると・・・」

バーダック「ハンター20体が放出するおいおいマジかよ」

ポーポポ「それを阻止するには・・・」

マツシモ「東エリアのショッピングモールの扉付近にある指紋認証装置を20人認証をしなければならぬ」

ウラタロス「行くか行かないかは自由だ、これはやばいね」

ミッション

ハンター20放出を阻止せよ

これより220分になるとハンターが20体放出する

それを阻止するには東エリアのショッピングモールの扉付近にある指紋認証装置を20人が認証しなければならぬ

行くか行かないかは逃走者の自由だ

ゼロ「よし、行くか!！」

シャドウ「行くか」

アコール先生「皆さんのために行きましょう」

ラフィーナ「行きますわ!！」

伊達「行こうか後藤ちゃん」

後藤「はい、伊達さん!！」

マッシモ「よし、この鋼鉄のマッシモ良いと」見せるぞ!！」

カービィ「誰かがいくでしょう」

ワリオ「誰が行くかつ」の

パラガス「怖いから行かない」

行くものがいれば行かない者もいる

映司「あ、いた、おいアंक」

アंक「やっと来たか」

この2人は待ち合わせをしたようだ

映司、アंकと合流

映司「所でアंकミッションの方行くか？」

アंक「そうだな、ハンターが20体は厄介だからな」

映司「よし、じゃあ早速行こう!!」

シルバー「ん？これか指紋認証装置で」

偶然指紋認証装置を見つけたシルバー

シルバー「よし、早速認証するか！！」

ピッ、ピッ、ピッ、ピッ、ピッ、ピッ――――

認証完了残り19人

シルバー「偶然だけど、よし！！」

ブルルルル

ピッコロ「認証完了残り19人」

ナツクルズ「早えな」

アルル「誰がやったんだろっ?」

ブレイズ「・・・私も行くか」

果たしてミッションクリアとなるか

part - 2 (後書き)

感想をお願いします

part - 3 (前書き)

現在指紋認証残り19人

真司「指紋認証装置は確か東エリアのショッピングモールの扉付近にあるって言ってたよな」

彼も認証装置を探している

プルルルル

スパイダー「ん？、通達か・・・」

モモタロス「これよりレールシティのどこかにアイテムが設置した・・・」

ルージュ「そのアイテムは君たちの逃走に役立つだろう、アイテム

ねえ
」

通達

これよりレールシティにアイテムが入った宝箱が設置された

そのアイテムはエリアの設置され見つけたアイテムは逃走者たちの
役に立つだろう

ロククマンゼロ「……………ん？、宝箱
」

宝箱を見つけたゼロ

ロククマンゼロ「中身は……………冷凍銃
」

冷凍銃

それはハンターを1分半の間に凍らせることができる便利なアイテムだ

ロックマンゼロ「一応身を隠すか」

ゼロはビルに身を隠す

ラフィーナ「早く東のショッピングモールにいかないと」

ロックマンゼロ「あれは、ラフィーナか」

そしてゼロはラフィーナを見かけた

そして彼女の後ろにハンター

まだ彼女は気づいていない

そして

ハンター「!!」

見つかった

ラフィーナ「ん、きゃあああああああああああああ!」

ゼロ「ん、こっちに来ている・・・」

ハンターとラフィーナとの距離は縮んでいく

そこへ

ザッ

ゼロが堂々と自分から飛び出してきた

ラフィーナ「え!？」

ロックマンゼロ「ハア!!」

ブシューーーーーー

ゼロはさっき手に入れた冷凍銃を使った

そして

ハンター、フリーズ

ロックマンゼロ「・・・」

ラフィーナ「あ、ゼロさん、ありがとう」

ロックマンゼロ「気にするな」

ラフィーナ「所でミッションは行きますの？」

ロックマンゼロ「そのつもりだ」

ラフィーナ「では一緒に行きませんか？」

ロックマンゼロ「構わん」

ラフィーナ、ロックマンゼロと合流

マッシモ「よしー!」

プルルルル

マリノ「認証残り18人・どうしようかな、私は」

果たしてミッションクリアとなるか

part - 3 (後書き)

感想をお願いします

part - 4 (前書き)

認証残り18回

part - 4

真司「お、これかさつき通達で言ったアイテムは」

宝箱を見つけた仮面ライダーの1人

真司「中身は・・・ん？これハンターがかけているサングラスじゃん、お、紙だ、なにになに無敵サングラス」

真司が手に入れたのは、無敵サングラス

それは装着してから2分半間ハンターに見つからないと言いつても便利なアイテムだ

真司「スゲエもん手に入れたわ〜ラッキーでもこれはハンターが来てからかけよ」

もしもの時にとっておく

シナモン「私もミッションに行きます」

認証装置を探しに行くシナモン

だが彼女の後ろの短距離にハンター

そして

ハンター「!!」

見つかった

シナモン「……キャア!!」

ポン

シナモン「確保残り93人

シナモン「捕まってしまいました・・・」

プルルルルル

連「確保情報・・・」

リデル「南エリアにて・・・」

首領パッチ「シナモン確保」

マリノ「シナモンが！！」

スパイダー「シナモンが捕まってしまったか」

エックス「よし、見つけたぞ！！」

りんご「早く認証しよ」

この2人もたどり着いた

そこへ

伊達「お、エックスちゃん、それにりんごちゃんも来てたのか」

りんご「あ、伊達さん、後藤さん」

エックス「後藤さん達も認証に」

後藤「当然だ」

そしてバースコンビもたどり着いた

伊達「じゃ、早速認証しますか」

ピッ、ピッ、ピッ、ピッーーーーー

そして後藤、エックス、りんごの3人も指紋を認証した

認証完了残り14回

伊達「じゃ、また会おうぜお2人さん」

伊達はそう言いながら後藤と一緒にエックス達と別れた

りんご「私達も行こう」

エックス「そうだな」

ブルルルル

ファルコ「お、認証残り14回」

ナツクルズ「一気に4人やってくれたぜ」

シルバー「こねってクリアになりそうじゃねえの」

果たしてミッションクリアとなるか

part - 4 (後書き)

感想お願い致します

part - 5 (前書き)

認証残り14回

part - 5

翔太郎「見つけたぜ、認証装置!!」

ドンキー「早速認証しようぜ!!」

ピッ、ピッ、ピッ、ピッ、ピッ-----

認証完了残り12回

プルルルルル

アクセル「残り12回もう8人もやったのか」

翔太郎「なあ、ここで一旦別れねえか」

ドンキー「そうだな、」

翔太郎「じゃあなドンキー」

翔太郎とドンキーは別れた

天道「東エリアまであともう少しか」

認証装置を探しに行く、天の道をいき総てを司る男

だが彼の後ろにハンター

天道「ん、ハンター!!!」

天道はいち早くハンターに気付き早足で逃げる

だが

ハンター「!!!」

見つかった

天道「見つかったか、だが!!!」

天道はスピードを上げハンターとの距離が開いていく

ハンター「・・・」

見失ったようだ

天道「・・・フン」

どうやら余裕だったようだ

アミティ「見つけたよソニック!!」

ソニック「よし、早速認証しようぜ!!」

認証装置にたどり着いたソニックとアミティ

ピッ、ピッ、ピッ、プー————

認証完了残り10人

プルルルル

マリオ「お、認証残り10回」

ブレイズ「私も早くいかないか」

シルバー「とうとう10回までいったか」

だが彼の後ろにハンター

ハンター「!!」

見つかった

シルバー「ん？ヤベエ!!」

シルバーは気づき逃げる

そこへ

ワリオ「またかよ!!」

ワリオがまた巻沿いを食らった

標的はワリオに変わった

そして

ワリオ「ぎゃあああああああああああああああああああああ
！！！！」

ポン

ワリオ確保残り92人

ワリオ「2度目じゃねえか、ふざけんな！！」

プルルルルル

ファルコ「確保情報」

メタナイト「西エリアにて・・・」

シャドウ「ワリオ確保」

フォックス「お、あのバカが捕まった」

デデデ「わしらの事下僕と言った奴など知ったこっちゃないZOY」

翔太郎「お、あんた確かパラガスだっけ？」

パラガス「おお、左か」

偶然パラガスを見かけた翔太郎

翔太郎「何やってんだ？」

パラガス「それより聞きたいことが」

翔太郎「なんだ？」

パラガス「ここ、どこ？」

翔太郎「え？ここは南エリアだぜ」

パラガス「ああそうか」

翔太郎「ちよつと待て、まさか・・・」

パラガス「道に迷った（泣）」

翔太郎「ええ〜！！いい大人でしかも親が迷子になったのかよ」

パラガス「普通にいえばそう言う事になる」

翔太郎「うわ〜、情けなッ！！」

翔太郎「まあこれで道が分かっただろ、じゃあな」

翔太郎は走っていった

パラガス「まさかこの親父が2度も迷子になるとは」

シャドウ「これが認証装置は」

認証装置にたどり着いたシャドウ

ピピピピピピピピピピ――――

認証装置残り9回

ブルルルルル

悟空「お、認証残り9回」

ルイージ「あと9回か」

果たしてミッションクリアとなるか

part・5 (後書き)

感想をお願いします

part - 6 (前書き)

認証完了まで残り9回

part - 6

天道「見つけたぞ、認証装置」

認証装置にたどり着いた天道

天道「認証するか」

ピッ、ピッ、ピッ、ピッ、ピッ――――

認証残り8回

プルルルルル

ルージュ「認証残り8回」

ルルー「私もいこうかしら」

土「ハンターか、ここは隠れるか」

ハンターをいち早く見つけ身を隠す門矢土、仮面ライダーディケイド

土「ん？あれは確かアコールて人か、後ろにハンターがいること気づいていないな」

アコール先生「認証装置まで向かいませんと」

まだ気づいてない

ハンター「!!」

見つかった

アコール「東エリアは……、ハンター!!」

そしてアコール先生もハンターに逃げる

土「やっぱり気づかれたか、しょうがない」

土はそう言いながら冷凍銃を持って向かった

どうやら数分前に冷凍銃を手に入れたようだ

ハンター「!!」

標的は土へと変わった

士「喰らえ!」

ブシューーーーー

ハンター、フリーズ

士「まあ、こんなもんか」

アコール先生「ありがとうございます、土さん」

土「別にいいって」

アコール先生「土さん、ミツ……」

土「言いたい事はだいたい分かってるミツシヨンの方は行くかだろ、
勿論そのつもりだぜ他のライダーも行く奴が多いだろうしな」

アコール先生「では一緒にいきませんか？」

土「別にいいぜ」

土、アコール先生と合流

海東「これだね認証装置は・・・ん？」

真司「やっと着いた」

照井「ここだな」

トランクス「あ、海東さん」

海東「やあ君達も来たのかい」

認証残り4回

ブルルルル

リデル「認証残り4回」

ルルー「もう4回も、早いわね」

クルーク「これはミッションクリアになる可能性が高いね」

だが彼の後ろにハンター

ハンター「!!」

見つかった

クルーク「……ん？ウヒヤヒヤ————
——!!」

クルークもいち早く気づき逃げる

そこへ

ウィッチ「ちよ、なにハンター連れ込んでんの!」!

ウィッチが巻沿いを食らった

そして2人とハンターの距離は縮んでいく

そして

クルーク「ウヒャヒャー――――
――！！！！！！」

ウィッチ「オイツー――――
――！！！！！！」

ポン

クルーク、ウィッチ確保残り90人

プルルルル

蓮「確保情報・・・」

ドラコ「北エリアにて・・・」

ナックルズ「クルーク、ウィッチ確保」

ベクター「ぷよぷよ系が一気に2人捕まったぜ」

果たしてミッションクリアとなるか

part - 6 (後書き)

感想をお願いします

part - 7 (前書き)

認証完了まで残り4回

part - 7

現在225分、

ハンター20体放出まで残り5分

ゼロ「よし、着いたぞ」

東エリアショッピングモールにたどり着いたゼロ

そして

ルイーダ「あ、ゼロ!!」

ゼロ「ルイーダか、お前も認証を」

ブルルルル

スパイダー「認証回数、残り2回」

ドラコ「もう2回も！？時間はあと5分もあるよ」

シグ「早いな」

リュカ「もう2回か行こうかな」

ミッションの事を考えているリュカ

だが彼の近くにハンター

リュカ「うん」

ハンター「・・・!!」

見つかった

リュカ「・・・ん？やばい!!」

リュカもハンターに気付き逃げる、だがハンターとの距離は縮んでいく

そして

リュカ「うわぁ!!」

ポン

リュカ確保残り89人

リュカ「ハンター、早すぎる」

プルルルル

リデル「確保情報・・・」

ポーボボ「西エリアにて・・・」

マツシモ「リユカ確保」

ネス「リユカが！」

スネーク「あいつ、捕まってしまったのか」

士「ここか、指紋認証装置があるショッピングモールは」

アコール先生「早速認証しましょう」

サタン「ミッションの結果・・・」

悟飯「シルバー・ザ・ヘッジホッグ、マツシモ、伊達明、後藤慎太郎、エックス、あんどおりんご、左翔太郎、ドンキーコング、ソニック・ザ・ヘッジホッグ、アミティ、シャドウ・ザ・ヘッジホッグ、天道総司、海東大樹、城戸真司、照井竜、トランクス、ゼロ、ルイージ、門矢士、アコール先生の20名によって・・・」

ベジータ「ミッションクリア」

デイディー「お、ドンキーもやってくれた」

ロックマンゼロ「もう一人の俺もやったのか・・・」

リデル「先生もやってくれたんですね」

マリノ「お、マツシモやるね〜」

シエゾ「てか、仮面ライダー組がミッションに言った奴多いな〜」

孫「さすが仮面ライダーでとこだね」

ミッション「無事クリア」

そして次にくるのはミッションかそれとも通達か

part - 7 (後書き)

感想をお願いします

part・8 (前書き)

そして次のミッションが

part - 8

現在 217分

突如全エリアのビルに映し出された4つのドクロマーク

プルルルルル

メールだ・・・

サムス「ミッション・・・」

ウルフ「これより東、西、南、北全てのエリア内のどこかのビルに
4つのドクロマークが映し出された・・・」

チャーミー「その4つのマークは残り7分までになると・・・」

スパイダー「残ってるマークと同じ数の・・・」

加賀美「通報部隊が投入する、通報部隊!？」

ナックルズ「厄介だぜこりゃあ」

ミッション2

通報部隊投入を阻止せよ

これより200分になると映し出されているマークと同じ数の通報部隊が投入される

マークを消すには、マークが映し出されているビルの近くにあるレバーを下ろさなければならぬ

なおマークは、1-4までナンバリングされており順番に消さなければならぬ

なお、西が1、北が2、東が3、南が4と置かれている

エスピオ「行くか」

加賀美「通報部隊なんて投入されたらまずい」

悟空「いつちよ行くか」

シエゾ「今俺は南エリアにいるか」

自分が現在いる場所を確認するシエゾ

だが彼の後ろにハンター

そして

ハンター「!!」

見つかった

シエゾ「ん？ヤベエ、ハンターだ!!」

シエゾハンターに気付き逃げるがハンターとの距離が縮んでいく

そして

シエゾ「オワアー!!」

ポン

シエゾ・ウイグイイ確保残り88人

シエゾ「くそ〜」

ブルルルル

蓮「確保情報・・・」

キンタロス「南エリアにて・・・」

アクセル「シエゾ・ウイグイイ確保」

アルル「シエゾが捕まった!!!」

ロックマンゼロ「今俺達は西エリアにいる」

ラフィーナ「ナンバリング1は西にあるて言ったわね、行きましょ
！！」

ロックマンゼロ「ああ・・・」

この2人は偶然西エリアにいたようだ

果たしてミッション2もクリアとなるか

part - 8 (後書き)

感想をお願いします

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9383z/>

ギャグありシリアスありバトルありのお気に入りキャラで逃走中

2012年1月6日21時49分発行